

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-1「ブランド化、生産・販路拡大への取組」	具体的な取組	●GAP等認証制度の推進	●新規就業者の確保・育成	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
		●女性の経営参画の促進	●農地利用集積の推進	農業生産額	82億円	63.4億円
		●高収益園芸品目への転換支援	●情報発信の強化	加工品ブランド認証数（累積）	50品目	24品目
		●異業種法人等企業参入の推進	●日本型直接支払制度の推進			

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
6	女性就農者確保対策事業補助事業	農業振興課	就労環境等の整備を図ることにより、女性就農者の促進を図ることを目的とする。	2経営体（集落営農法人）のトイレ改修を行い、女性就農者の就労環境の整備を図った。	① 女性就農者数	名	目標値	1	1	1	1	1	事業推進により、女性農業従事者の確保に努める。	A.現状のまま継続
							実績値	0	1	-	-	-		
							% 達成率	0%	100%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
7	事業事務委託事業	農業振興課	農地中間管理事業の円滑な事業推進を図る。	・事業推進員2名を雇用 ・地区説明会の開催 6地区 ・R4年度集積面積 60.7ha（うち新規46.8ha）	① 担い手への農地集積	ha	目標値	35	35	35	35	35	人農地プランが法定化され、目標地区・地域計画の取組により、これまで以上に地域での協議が行われる。今後も農地集積を加速していく。	A.現状のまま継続
							実績値	40	47	-	-	-		
							% 達成率	114%	134%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
8	機構集積協力金交付金事業	農業振興課	担い手への農地の集積・集約化を加速させるため、機構を通じた農地の集積・集約化等を促進する。	機構集積協力金 1,538,800円の交付 <内訳> ・地域集積協力金 8地区 876a 1,435,800円 ・経営転換協力金交付事業 3戸 103a 103,000円	① 担い手への農地集積	ha	目標値	35	35	35	35	35	担い手への農地集積が図られ、将来の地域内の農地について住民同士が話し合うきっかけとなった。引き続き制度の周知を図りながら、制度利用を推進する。	A.現状のまま継続
							実績値	40	47	-	-	-		
							% 達成率	114%	134%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
9	JAおおいたぶんど大野生産部会補助事業	農業振興課	JAおおいたぶんど大野生産部会に所属する各部会の取組を支援し、農業産出額の向上につなげ、農業所得、経営の安定を図る。	JAおおいた豊後大野生産部会に対し、活動補助金を交付。部会ごとに安全で安心な食料を安定的に供給する体制づくりを行った。	① 年間農業産出額 82億円	億円	目標値	82	82	82	82	82	JAおおいたぶんど大野生産部会に所属する各部会の取組を支援し、農業産出額の向上につなげ、農業所得、経営の安定を図る。	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善
							実績値	62	63.4	-	-	-		
							% 達成率	76%	77%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
10	園芸産地整備事業	農業振興課	水田の畑地化による米から高収益な園芸品目への生産転換を加速するとともに、園芸団地づくり計画に位置づけられた大規模園芸産地の育成を重点的に推進し、農業産出額の向上をめざすもの	県補助事業を活用し、園芸産地づくりを推進するための栽培施設、生産基盤、機械施設等の整備に対し補助金を交付する。 事業実施品目：ピーマン、かんしょ、白ねぎ、小ねぎ、葉たばこ、ぶどう等	① 園芸重点品目の販売金額 26.4億円	億円	目標値	26.4	26.4	26.4	26.4	26.4	本事業については、事業費も高額であることから、早期計画と早期着手に努める。	B.見直しの上で継続-1 拡充
							実績値	26.1	24.9	-	-	-		
							% 達成率	99%	94%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
					② -		実績値	-	-	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-1「ブランド化、生産・販路拡大への取組」	具体的な取組	●GAP等認証制度の推進	●新規就業者の確保・育成	重要業績評価指標(KPI)	目標値(2025年度)	実績値(2022年度)
		●女性の経営参画の促進	●農地利用集積の推進	農業生産額	82億円	63.4億円
		●高収益園芸品目への転換支援	●情報発信の強化	加工品ブランド認証数(累積)	50品目	24品目
		●異業種法人等企業参入の推進	●日本型直接支払制度の推進			

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
11	営農普及サポート支援事業	農業振興課	JA等農業団体、県及び市行政等による営農普及指導体制の確立を図るとともに、食農教育の推進に向けた取り組みを支援する。	営農普及協力員はJA部会で人選ができず、支援体制の強化が図られなかった。栽培マニュアルは、市、県、JAの担当が協力して作成できた。	① 営農普及協力員の指導、相談対応件数	回	目標値	27	27	27	27	27	作成した栽培マニュアルを有効活用するとともに、関係機関と連携した農家指導を推進する。	B.見直しの上で継続-3 効率化/RPA等
							実績値	11	0	-	-	-		
						%	達成率	41%	0%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
				② -										
12	流通・販売戦略推進事業	農業振興課	産地収益力向上をめざした生産から流通、販売、消費までを捉えた販売戦略を構築することを目的として、トップセールスによる販売促進や本市HPの見直しを行うもの。	・大分の野菜畑豊後大野ホームページ保守管理委託264千円	① 年間農業生産目標額 82億円	億円	目標値	82	82	82	82	82	新型コロナウイルスが5類に移行したことから、福岡以外でのトップセールスも積極的に取り組んでいく。	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善
							実績値	62	63.4	-	-	-		
						%	達成率	76%	77%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
				② -										
13	ブランド認証・特産品PR事業	商工観光課	市内で生産された、農林水産物等を活用した加工品等の商品を豊後大野市ブランドとして認証するなどして、広く情報発信することで、消費拡大、地域産業の振興、地域経済の活性化を図るとともに、豊後大野市の魅力を向上させることを目的としています。	○新規ブランド認証品の審査選定 ○県公式オンラインショップ販促事業委託(本市産品への割引クーポン付与) ○PRイベント等実施委託	① ブランド認証品数	品	目標値	15	20	30	40	50	今後も引き続きブランド認証や特産品のPRを進めていきたい。	A.現状のまま継続
							実績値	14	24	-	-	-		
						%	達成率	93%	120%	-	-	-		
							目標値	10,000	15,000	17,000	18,000	20,000		
							実績値	14,000	20,506	-	-	-		
						%	達成率	140%	137%	-	-	-		
14	企業等農業参入推進事業補助事業	農業振興課	県外の優良な企業的農業経営体の誘致や市内外の意欲ある他産業企業からの農業参入を推進することを目的とする。	1経営体が事業実施。 トラクターの導入を行った。	① 年度毎の参入数	社	目標値	2	2	2	2	2	優良企業体の参入は必要不可欠であり、参入の推進には必要な事業である。	A.現状のまま継続
							実績値	2	1	-	-	-		
						%	達成率	100%	50%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
						%	達成率	-	-	-	-	-		
15	環境保全型農業直接支払交付金事業	農業振興課	環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、交付金の直接支払を行うもの	事業実施者：豊後大野市有機農業推進協議会(2戸)、朝地町平井川保全会(5戸) 実施面積：有機農業4.44ha、緑肥施用8.28ha	① 緑肥施用、有機農業の実施	ha	目標値	13.9	14	14	14	14	国の「みどりの食料システム戦略」の事業活用も視野にいれながら、今後の推進方針を検討する。	A.現状のまま継続
							実績値	11.86	12.72	-	-	-		
						%	達成率	85%	91%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
						%	達成率	-	-	-	-	-		

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-1「ブランド化、生産・販路拡大への取組」	具体的な取組	●GAP等認証制度の推進	●新規就業者の確保・育成	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
		●女性の経営参画の促進	●農地利用集積の推進	農業生産額	82億円	63.4億円
		●高収益園芸品目への転換支援	●情報発信の強化	加工品ブランド認証数（累積）	50品目	24品目
		●異業種法人等企業参入の推進	●日本型直接支払制度の推進			

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
16	多面的機能支払交付金事業	農林整備課	農業や農村が持つ多面的な機能の維持や、機能の発揮を図るための地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 活動組織に対し交付金支出 全組織を対象とした事務説明会を開催 組織からの相談を受け付け、助言及び指導を実施 活動報告書の審査受領 事業拡大のための広報活動 中山間直払いに取組中の集落協定への多面説明会の開催 新規実施希望地区に対する事業の説明 現地調査 	① 取組面積	ha	目標値	2,101	1,934	1,994	2,052	2,110	活動を終了する組織があるため協定農用地面積が減少する見込みであるが、新規拡充に努める。	A.現状のまま継続
							実績値	2,056	1,804	-	-	-		
						%	達成率	98%	93%	-	-	-		
						② -	ha	目標値	-	-	-	-		
								実績値	-	-	-	-		
							%	達成率	-	-	-	-		
17	中山間地域等直接支払交付金事業	農業振興課	中山間地域等、耕作の条件不利地において、集落協定等を締結し、5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対し、田・畑別、傾斜別に単価を設定して直接支払交付金を交付する。	<p>令和4年度も各協定を対象とした説明会を開催するよう準備を進めたが、新型コロナウイルス感染拡大の観点から開催を中止した。代わりに資料配付を行い、電話や面談などで協定からの質疑に答えることで制度の周知を図った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。</p> <p>その他、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行った。</p>	① 協定農用地	ha	目標値	2,388	2,390	2,390	2,391	2,391	集落協定内での争議で苦情や相談を受けることから、本制度の徹底や地域内での合意形成の重要性を協定役員等に対して説明していく。	A.現状のまま継続
							実績値	2,419	2,407	-	-	-		
						%	達成率	101%	101%	-	-	-		
						② -	ha	目標値	-	-	-	-		
								実績値	-	-	-	-		
							%	達成率	-	-	-	-		
18	中山間地域等直接支払推進事業	農業振興課	中山間地域等、耕作の条件不利地において、集落協定等を締結し、5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対し、田・畑別、傾斜別に単価を設定して直接支払交付金を交付する。	<p>令和4年度も各協定を対象とした説明会を開催するよう準備を進めたが、新型コロナウイルス感染拡大の観点から開催を中止した。代わりに資料配付を行い、電話や面談などで協定からの質疑に答えることで制度の周知を図った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。</p> <p>その他、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行った。</p>	① 協定農用地	ha	目標値	2,388	2,390	2,390	2,391	2,391	集落協定内での争議で苦情や相談を受けることから、本制度の徹底や地域内での合意形成の重要性を協定役員等に対して説明していく。	A.現状のまま継続
							実績値	2,419	2,407	-	-	-		
						%	達成率	101%	101%	-	-	-		
						② -	ha	目標値	-	-	-	-		
								実績値	-	-	-	-		
							%	達成率	-	-	-	-		

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-2「企業誘致、創業支援」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●相談体制の充実 ●情報サービス業、インターネット付随サービス業の誘致 ●先端設備等の導入に取り組む企業に対する支援 ●「テレワーク」の推進 ●中小企業や小規模企業に対する経営安定化の支援 ●個性ある個店への伴走型支援 ●企業合同説明会の開催 	重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (2025年度)	実績値 (2022年度)
			立地企業数 (累積)	10件	8件
			起業・創業件数	22件	7件

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	商工会補助事業	商工観光課	商工会が行う小規模事業者に対する指導事業及び商工業の振興と安定を図るための事業に要する経費について、補助金を交付する。	<ul style="list-style-type: none"> ・会員事業所からの相談受付及び経営指導 ・各種補助金・給付金等の申請支援 ・創業セミナーの開催 	① 商工会員数	人	目標値	856	866	876	886	896	市内小規模事業者の経営維持や改善を図るための経営指導や各種補助金(持続化補助金、ものづくり補助金等)の支援や創業セミナーの開催等により市内商工業の振興が図られており事業の継続が必要である。	A.現状のまま継続
							実績値	849	852	-	-	-		
					② 事業所数	%	達成率	99%	98%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	1,537		
2	企業誘致推進事業	商工観光課	地域活力の向上や雇用の場の創出のために、企業誘致や地場企業の増設を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ○大分県企業立地推進課との連絡調整 ○企業立地案内冊子の作成・配布 ○立地企業の事業所・工場等への訪問 ○立地企業の工場増設等への支援 	① 立地企業数等	社	目標値	7	7	8	9	10	立地企業を訪問し、意見交換をするなどして情報の収集や市の情報提供に努めている。また、企業誘致を促進するための補助制度は引き続き継続する必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	7	8	-	-	-		
					② -	%	達成率	100%	114%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
3	小規模事業者経営改善資金利子補給補助事業	商工観光課	小規模事業者の経営の安定と発展を図るため、株式会社日本政策金融公庫による小規模事業者経営改善資金の融資を受けた小規模事業者に対し、借り入れた融資にかかる償還利子の一部について、利子補給補助金を交付するもの。	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会から請求のあった各債務者の償還利子の一部を要綱に基づき補助した。 ・補助要綱を改正し、事業実施期間を延長した。 	① 新規借入額	千円	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	市内小規模事業者が、事業継続と経営の安定を図るために利用する融資(マル経資金)に対して、市が行う利子補給は事業者の支援として必要である。	A.現状のまま継続
							実績値	125,400	234,700	-	-	-		
					② -	%	達成率	42%	78%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
4	中小企業振興資金融資関連事業	商工観光課	豊後大野市中小企業振興条例の規定に基づき、中小企業者等に対して必要な施策を講ずることにより、経営の改善及び経営基盤の強化の促進を図り、もって本市の商工業の発展に資することを目的とする。	指定金融機関(大分銀行、県信用組合、豊和銀行)に1千万円ずつ預託し、指定金融機関が豊後大野市中小企業振興資金を市内事業者に貸し付ける際に必要となる保証料を、市が補助した。	① 資金貸付件数	件	目標値	3	3	3	3	3	豊後大野市中小企業振興条例に基づき、産業振興対策及び創業者支援として、市内の中小企業者等が事業資金の融資を受けやすくするための預託金と保証料補助金であり、今後も本市の産業振興及び創業支援のために必要である。	A.現状のまま継続
							実績値	3	1	-	-	-		
					② -	%	達成率	100%	33%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
5	求評・商談会委託事業	商工観光課	中小企業・小規模企業活性化基本条例第11条の地域資源の利活用による産業の発展及び創出という基本方針ののっとり、中小企業者等の特産品の販路を拡大する。	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン商談会の開催 ○東京都内や大分市内での本市特産品求評会・PRの実施 	① 成約件数	件	目標値	6	7	8	9	10	今後も本市の魅力発信のために継続する必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	24	12	-	-	-		
					② -	%	達成率	400%	171%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
② -	%	達成率	-	-	-	-	-							
		目標値	-	-	-	-	-							

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-3「先端技術への挑戦」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●スマート農業の推進 ●ICTを活用した介護予防システムの導入と推進（再掲） ●行政におけるリモートワーク環境の整備やAIやRPAツールの活用 	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
			スマート農業技術の導入（累積）	3事業	3事業

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	担い手経営強化対策事業補助事業	農業振興課	農業の担い手の確保及び育成を図りつつ、経営規模を拡大することを目的とする。	19経営体が事業実施し、機械導入に伴い約13haの規模拡大を行った。	① 経営規模の拡大面積	ha	目標値	60	70	80	90	100	認定農業者、認定新規就農者の確保・育成に大きく寄与してきた市単独事業である。規模拡大を要件としており、これまで事業の目的を十分に達成していると考えられる。今後、要件の見直し等柔軟に対応しながら継続する。	A.現状のまま継続
							実績値	60	73	-	-	-		
						%	達成率	100%	104%	-	-	-		
						② 経営規模の拡大頭数	頭	目標値	13	15	17	19		
			実績値	11	42	-	-	-						
			%	達成率	85%	280%	-	-	-					
2	重量野菜省力化支援事業	農業振興課	高齢化等により重量物野菜の積み込み等の作業の軽減を図るための経費を補助する	アシストスーツ購入支援：1件（さといも農家）	① 補助金交付件数	件	目標値	3	3	3	0	0	今後も確実な事業周知に努めながら、アシストスーツ等の導入を推進する。	B.見直しの上で継続-1 拡充
							実績値	3	1	-	-	-		
						%	達成率	100%	33%	-	-	-		
						② -		目標値	-	-	-	-		
			実績値	-	-	-	-	-						
			%	達成率	-	-	-	-	-					
3	戦略品目産地化プロジェクト支援事業	農業振興課	園芸重点品目の産地化及びブランド化を早期に図るための整備事業に対し補助金を交付するもの。	<ul style="list-style-type: none"> ・産業用ドローン購入支援（1件） ・地域資源（豚ふん堆肥）活用実証事業（美なす部会・ゴーヤ部会） ・堆肥散布機購入支援（市農林業振興公社） 	① 補助金交付件数	件	目標値	5	5	5	0	0	今後も確実な事業周知に努めながら、スマート農業をはじめ、省力化機械整備の支援を積極的に推進する。	A.現状のまま継続
							実績値	1	5	-	-	-		
						%	達成率	20%	100%	-	-	-		
						② -		目標値	-	-	-	-		
			実績値	-	-	-	-	-						
			%	達成率	-	-	-	-	-					
4	情報化推進事務事業	総務課	庁舎内共通業務に関する統合型サービス利用推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス会議システム運用管理 ・庁舎内統合型GISシステム運用管理 	① ペーパーレス会議数実績	会議	目標値	5	10	20	30	40	事務の効率化及び経費の削減に資するよう今後も利活用の促進を図る必要がある。	B.見直しの上で継続-5 統合
							実績値	10	70	-	-	-		
						%	達成率	200%	700%	-	-	-		
					② データー元管理業務数	業務	目標値	3	10	30	40	50		
							実績値	3	10	-	-	-		
						%	達成率	100%	100%	-	-	-		
5	情報ネットワーク管理事業	総務課	本庁、支所及び出先機関（市内小中学校等の接続を含む）を結ぶ情報ネットワークの円滑な運営管理。	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内Wi-Fi整備（施設追加等） ・情報ネットワーク保守 ・イントラネット共架電柱移設対応 	① 庁舎内リモート会議数	会議	目標値	5	10	20	30	40	整備したオンライン環境が有効に活用できるよう保守管理はもとより、必要な改善を図る。	A.現状のまま継続
							実績値	10	15	-	-	-		
						%	達成率	200%	150%	-	-	-		
					② -		目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
						%	達成率	-	-	-	-	-		

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-3「先端技術への挑戦」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●スマート農業の推進 ●ICTを活用した介護予防システムの導入と推進（再掲） ●行政におけるリモートワーク環境の整備やAIやRPAツールの活用 	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
			スマート農業技術の導入（累積）	3事業	3事業

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
6	基幹電算事務事業	総務課	基幹系等電算システムの円滑な運営を図り、行政業務を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹情報系関連システム等改修（セキュリティ関連等） ・行政手続オンライン化対応（子育て・介護関係） ・財務会計電子決裁化対応（機器整備） ・業務改善ツール活用（Kintone、電子申請システム、RPA等） 	① 行政手続電子申請件数	件	目標値	100	1,000	-	-	-	行政事務情報化推進事業の実施にあたっては、その効果の検討を十分に行い、事務事業の効率化に資するよう計画的な改善を図る。	A.現状のまま継続
							実績値	1	47	-	-	-		
						%	達成率	1%	5%	-	-	-		
					② AI-OCR、RPA活用業務数	業務	目標値	5	10	-	-	-		
							実績値	7	12	-	-	-		
						%	達成率	140%	120%	-	-	-		

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-1「女性の活躍推進」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●ポテンシャルある女性の就業機会創出への取組 ●女性の活躍を支援するための講座の開催 ●市民、企業、団体等への女性委員や管理職等の積極的な登用の推進 ●ワーク・ライフ・バランスの推進 ●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備（再掲） 	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
			各種審議会等委員の女性登用率	50%	35.9%

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価		
													所管課の所見	今後の方針	
1	男女共同参画社会啓発事業	人権・部落差別解消推進課	男女共同参画社会の実現に向けて、人権尊重・男女平等の意識を育てる啓発・教育を推進する。	○第16回男女共同参画市民のつどいを開催 参加者 一般172人 実行委員会等関係者27人 ○男女共同参画啓発講座等の開催 ・市民講座 5回 参加者 183人 ・癒しのコンサート 参加者 一般162人 実行委員等関係者 8人 ・放課後チャレンジ教室 7か所 参加者 112人 ・男女共同参画出前講座 5か所 参加者 73人	① 社会全体において男女が平等と感ずる割合	%	目標値	-	-	-	-	-	30	女性の登用やワークライフバランスの推進など、男女が共に働きやすい環境作りや多様化する生き方・働き方に対応し、誰もが自分らしい生活を送ることができる男女共同参画社会の形成を促進するため、関係課や関係機関との連携を図るとともに、あらゆる手段を検討するなど丁寧な事業実施に努め、着実な男女共同参画事業の推進に取り組んでいく必要がある。また、性的マイノリティに対する理解を深めるため啓発活動を推進する。	A.現状のまま継続
							実績値	-	-	-	-	-	-		
							達成率	-	-	-	-	-	-		
						%	目標値	-	-	-	-	-	75		
							実績値	-	-	-	-	-	-		
							達成率	-	-	-	-	-	-		

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成 ●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携 ●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実 ●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実 ●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進 ●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進 ●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援 ●大分県立三重総合高等学校への支援 	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	72組
			地域子育て支援センター実施箇所数及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	68人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	1校

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	結婚新生活支援事業	まちづくり推進課	結婚を希望する男女や、結婚したいが経済的に結婚に踏み切れないカップルが結婚に踏み出すための支援として、引越費用や新居の取得に係る経費、家賃等を補助する。	夫婦ともに39歳以下の新婚世帯に対し、新生活を始める際に係る経費を補助した。7件	① 対象者数	人	目標値	15	15	15	15	15	国の動向もみながら、今後も適正に事業の実施を行う。	A.現状のまま継続
							実績値	4	7	-	-	-		
							達成率	27%	47%	-	-	-		
							② 婚姻数推計値	組	目標値	105	105	105		
実績値	93	72	-	-	-									
達成率	89%	69%	-	-	-									
2	婚活支援事業	まちづくり推進課	結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供して結婚のきっかけづくりを行い、本市の人口減少の抑制へとつなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別相談会の開催 8回 ・婚活セミナー・イベントの開催 2回 ・婚活サポータースキルアップ研修 3回 ・婚活サポーター情報交換会 1回 ・婚活サポーター養成講座 3回 	① 相談者数	人	目標値		64	64	64	64	64	婚活支援は、少子化対策の重要な事業ととらえており、今後も適正に事業の実施を行う。
							実績値	7	14	-	-	-		
							達成率	11%	22%	-	-	-		
							② 参加人数	人	目標値	56	56	56	56	
実績値	115	54	-	-	-									
達成率	205%	96%	-	-	-									
3	地域子育てサポート事業	子育て支援課	地域子育てサポート事業・・・子育ての手助けをして欲しい人「よろしく会員」と手伝いが出来る人「まかせて会員」が相互援助活動を行うことにより子育て支援を行う。	まかせて会員(14人)がよろしく会員(94人)を地域の中で相互援助した。(預かり68件・送迎0件)	① 相互援助活動の実施数	件	目標値		55	55	60	60	65	子育て世帯から必要とされている事業であり、一定の成果を上げている。今後においては、需要の伸びを想定して、更なる「まかせて会員」の確保に努めなければならない。
							実績値	75	68	-	-	-		
							達成率	136%	124%	-	-	-		
							② -	-	目標値	-	-	-	-	
実績値	-	-	-	-	-									
達成率	-	-	-	-	-									
4	地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	地域の子育て家庭に対する育児支援を行うため、身近な地域で、育児不安についての相談・助言その他の援助や、親子の交流の場の提供を目的に、子育て支援センターの運営に努めます。	地域における子育ての拠点として、在宅親子や出産予定がある夫婦等の交流の場づくりや、育児に関する情報提供や育児相談等が実施できた。	① 地域子育て支援拠点事業の充実	人	目標値		1500	1500	1500	1500	1500	育児不安についての相談・助言等援助や親子交流の場の提供を行い、一定の成果を上げている。今後は、新規利用者を増やすとともに、センター同士の連携を強化し充実した事業展開を行っていく。
							実績値	1469	703	-	-	-		
							達成率	98%	47%	-	-	-		
							② -	-	目標値	-	-	-	-	
実績値	-	-	-	-	-									
達成率	-	-	-	-	-									
5	子育て支援情報サイト業務委託事業	子育て支援課			① 新規ユーザーの割合	%	目標値		86	-	-	-	-	各種保育サービスに関する情報を掲載、必要に応じて更新をして一定の成果を上げた。令和4年度から、妊娠期から子育て期まで必要な時に適切な子育て支援情報が取得できる母子手帳アプリ「母子モ」へ移行したことで、費用が減少し内容は更に充実した。今後においても、最大限活用できるよう情報の更新に努めなければならない。
							実績値	85.74	-	-	-	-		
							達成率	100%	-	-	-	-		
							② -	-	目標値	-	-	-	-	
実績値	-	-	-	-	-									
達成率	-	-	-	-	-									

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成 ●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携 ●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実 ●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実 ●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進 ●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進 ●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援 ●大分県立三重総合高等学校への支援 	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	72組
			地域子育て支援センター実施箇所数及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	68人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	1校

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
11	幼児精密健診事業	子育て支援課	幼児精密健診を実施し、育児支援・発達障害の早期発見、支援・相談を行い、子どもの成長発達に関する親の理解を深め、一貫した支援体制につなげる。	新型コロナウイルス感染症に留意しながら、当初の計画どおり計10回の相談会を実施した。R4年度の幼児健診で要精密と判断された17名と、R3年度の幼児健診で要精密と判断された後、相談会未参加だった8名の計25名の内、19名が幼児健診フォローとして発達相談会を利用した。	① 幼児健診フォロー数	%	目標値	70	70	70	70	70	幼児精密健診の実施により、発達障害の早期発見を行うとともに、保護者の育児支援の体制づくりを行っており、一定の成果を上げている。今後においても、個々の子どもへのきめ細やかな支援に努めていかなければならない。	A.現状のまま継続
							実績値	69	76	-	-	-		
							達成率	99%	109%	-	-	-		
							② -	目標値	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-			
							達成率	-	-	-	-			
12	利用者支援事業（母子保健型）	子育て支援課	母子保健に関する相談に対応するため母子保健型を設置し、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供する。保健師、助産師、臨床心理士等の専門職が、すべての妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力して支援プランを作成することにより、妊産婦等に対しきめ細やかな支援を実施する。	・妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応した。・支援を必要とする者が利用できるサービスを選定し、情報提供した。・支援を必要とする妊産婦を早期に把握し、関係機関と協力して支援プランを作成した。配慮が必要な子育て家庭への支援をした。母子手帳の交付数（125人）	① 育児指導数	人	目標値	50	40	40	40	70	妊娠期から子育て期までの支援を切れ目なく提供するための相談支援やサービスの情報提供や支援プランの策定等を行うため「子育て世代包括支援センターきらきら」の設置を行っている。配慮が必要な家庭への支援に一定の成果を上げている。今後についても、子育て家庭への相談・助言等を行い必要な支援を行っていく必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	111	89	-	-	-		
							達成率	222%	223%	-	-	-		
							② 産後うつ検討数	目標値	130	130	120	120		
							実績値	128	120	-	-			
							達成率	98%	92%	-	-			
13	家庭訪問型子育て支援事業委託事業	子育て支援課	乳児家庭全戸訪問事業等により把握した保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童若しくは保護者に監護させることが不適当であると認められた児童及びその保護者又は出産後の養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦に対し、その養育が適切に行われるよう当該居宅において育児家事の援助、養育に関する相談、指導、助言その他必要な支援を行うことを目的とする。	（育児家事援助 70件）食事、衣類、生活環境等、不適切な養育状態にある家庭に、民間団体を活用して、育児家事援助等の支援の提供を行った。（専門的相談支援 55件）妊娠期からの継続的な支援を必要とする家庭に、助産師等による訪問支援を行った。	① 家庭訪問	件	目標値	95	95	94	93	92	出産後間もない時期の養育者及び生活環境等支援が必要な養育状態にある家庭について、必要な支援につなぐことができたことで一定の成果を上げている。今後においては、支援の対象や訪問支援者等の拡充・検討に努めなければならない。	B.見直しの上で継続-1 拡充
							実績値	92	55	-	-	-		
							達成率	97%	58%	-	-	-		
							② -	目標値	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-			
							達成率	-	-	-	-			
14	乳児家庭全戸訪問事業	子育て支援課	すべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、その居宅において様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図ることを目的とする。	すべての乳児のいる家庭を訪問し支援を行った。ホームスタートなど子育て支援に関する情報提供を行い、育児に関する相談に応じ、心身の様子や養育環境の把握を行い、産後うつ検討会を毎月開催し支援方針を検討しサービスの提供につなげることができた。	① 子育て情報の提供実施	%	目標値	100	100	100	100	100	保健師らが乳児のいる家庭の全戸訪問を行い、赤ちゃんの発育状況の確認をしながら、育児や母親の産後の経過などについて、相談・助言活動を行う。産後うつの把握や適切なサービス提供等を行っており、一定の成果を上げている。今後においても必要な事業である。	A.現状のまま継続
							実績値	100	100	-	-	-		
							達成率	100%	100%	-	-	-		
							② 産後うつ検討数	目標値	120	120	120	120		
							実績値	128	54	-	-			
							達成率	107%	45%	-	-			
15	子育て短期支援事業	子育て支援課	保護者の疾病その他の理由により家庭において子どもを養育することが一時的に困難となった場合等に、児童養護施設等において一定期間、養育・保護を行うことにより、これらの子ども及びその家庭の福祉の向上を図る。	保護者が出産、就労等の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合、実施施設において保護をおこなった。4施設と委託契約し、利用の際は事前に見学、利用の申請の受付、可否決定、通知、支援施設へ委託、経費の支払いを行った。	① 利用児童数	人	目標値	5	5	5	5	5	家庭での一時的な養育困難時に、施設で養育・保護を行うことで、児童の福祉に必要な事業であり一定の成果を上げている。今後においては、利用件数の増加が見込まれ、実施施設の開拓に努める必要がある。	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善
							実績値	5	11	-	-	-		
							達成率	100%	220%	-	-	-		
							② -	目標値	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-			
							達成率	-	-	-	-			

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成 ●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携 ●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実 ●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実 ●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進 ●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進 ●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援 ●大分県立三重総合高等学校への支援 	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	72組
			地域子育て支援センター実施箇所数及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	68人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	1校

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
16	子ども家庭総合支援拠点事業	子育て支援課	すべての子どもの権利を擁護し、子どもとその家庭及び妊産婦を対象に、実情の把握、子ども等に関する相談全般から通所・在宅支援を中心としたより専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務を行うため、子ども家庭総合支援拠点を設置する。	子どもの実情の把握、関係機関への情報の提供、相談等の対応、営家期果敢との総合調整を行った。児童記録表の作成、業務を行った。	① 個別支援会議の開催	回	目標値	28	28	28	28	28	子どもの実情の把握、関係機関への情報提供、相談対応等を行い、一定の成果を上げているが、複雑なケースが増加傾向にある。今後は、相談や支援などの対応に専門性が求められているため、効果的・計画的な人材育成が必要となっている。	B.見直しの上で継続-1 拡充
							実績値	28	28	-	-	-		
							% 達成率	100%	100%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
17	要保護児童対策事業	子育て支援課	児童福祉法に基づき要保護児童対策地域協議会を設置し、機能強化を図るため、家庭相談員を配置し専門性を強化し相談業務の実施及び児童虐待の予防、対策を行う。	要保護児童対策地域協議会の代表者会議・児相連絡会・実務者会議・個別支援会議・ケース検討会議を行い情報交換・支援方針の見直し等を行った。支援の実施状況の進行管理と関係機関との連絡調整を行った。	① 実務者会議の開催	回	目標値	12	12	12	12	12	児童福祉法第25条に基づき設置しており、関係機関と連携し、一定の成果を上げている。取扱案件が複雑化及び増加傾向にあり、今後においては、専門的な人員体制により組織を更に強化し、関係機関との連携及び支援や見守りが必要である。	B.見直しの上で継続-1 拡充
							実績値	12	12	-	-	-		
							% 達成率	100%	100%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
18	児童館運営事業	子育て支援課	児童、乳幼児及びその保護者相互の交流の場をつくり、母親クラブ等の地域組織活動の育成を図る事業。	5か所の児童館で延べ12,053人に対し、児童等の遊びの場や親子の交流の場を提供した。	① 児童館利用人数	人	目標値	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500	児童の健全な居場所づくりの促進など健全な育成を推進する場であるが、放課後児童クラブとの併設により、利用者が非常に少ない児童館にもある。職員の確保が困難となっている状況もあり、将来に向けてのあり方を検討する必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	11,450	12,053	-	-	-		
							% 達成率	100%	105%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
19	保護者負担金減免事業補助事業	子育て支援課	放課後児童クラブを利用する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、保護者負担金の一部を助成することにより、円滑な放課後児童クラブの利用促進を図り、児童の健全育成を支援することを目的とする事業。	31人の対象児童に563,300円の保護者負担金の減免を行った。	① 減免額	円	目標値	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	保護者負担金の一部を助成することによって保護者の経済的負担の軽減を図ることができ、健全育成の支援に一定の成果を上げている。	A.現状のまま継続
							実績値	667,478	563,300	-	-	-		
							% 達成率	95%	80%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
20	放課後児童クラブ巡回派遣事業委託事業	子育て支援課	放課後児童クラブへの作業療法士による巡回派遣を実施し、支援を担当する職員や児童の保護者に対し、障がいや特性の早期把握、早期対応のための助言等の支援を行う事業。	7クラブに対し巡回派遣を行い、1クラブ当たり平均25人の児童が参加した。	① 参加児童数	人	目標値	30	30	30	30	30	放課後児童クラブの職員と作業療法士が連携して、生活の場から子供の育ちを支援する取組は重要であり、今後、各クラブと情報共有しながら、児童の健やかな成長の支援となるよう事業を行っていく必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	25	25	-	-	-		
							% 達成率	83%	83%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成 ●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携 ●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実 ●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実 ●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進 ●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進 ●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援 ●大分県立三重総合高等学校への支援 	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	72組
			地域子育て支援センター実施箇所数及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	68人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	1校

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
21	放課後児童健全育成事業	子育て支援課	保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や長期休みに適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る事業。	13か所の放課後児童クラブで591人の登録児童を受入れを行った。	① 登録児童数	人	目標値	550	550	550	500	500	保護者の就労等により、放課後児童クラブの重要性が高まっている。放課後や長期休みに適切な遊びや生活の場を与えることができたことで、一定の成果を上げている。今後においては、支援員や補助員の確保について努めていかなければならない。	A.現状のまま継続
							実績値	634	549	-	-	-		
							% 達成率	115%	100%	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
22	児童館管理運営事業 連携型地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	子育て中の親の孤独感や不安感、負担の増大等に対することで、地域の子育て中の親子の交流促進や育児相談等を行う。	子育てに関する相談や親子の交流の場の提供等を行った。	① 利用人数	人	目標値	2,500	2,500	-	-	-	「子育て支援センター」は、子育て相談や子育て情報の提供のほか、親子の交流を図る場を提供する総合的な子育て支援拠点である。新型コロナウイルスの影響により、利用人数は減少していたが、収束に向かうにつれて多少の増加となりつつある。	A.現状のまま継続
							実績値	2,273	2,653	-	-	-		
							% 達成率	91%	106%	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
23	支援対象児童等見守り強化事業	子育て支援課	新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まる恐れがあることを踏まえ、支援ニーズの高い子ども等を見守り、必要な支援につなげることができる体制の強化を推進するため、子どもの居宅を訪問するなどし、食事の提供等を通じた子どもの見守り体制を強化する。	子ども食堂と連携して、週2回の食事の提供を行い、子どもの状況把握を行った。要対協の構成メンバーにいらした子ども食堂と相互連携し、毎月情報共有をし、地域における子どもの見守り体制の強化を支援した。	① 子どもの見守りのための食事の提供	食	目標値	3,500	4,000	4,000	4,000	4,000	支援ニーズが必要な子どもを見守り、必要な支援につなげる体制強化を行うため、居宅を訪問し食事提供を行うなど生活状況の把握をすることができたことで一定の成果を上げている。今後についても継続して支援を行い、ヤングケアラーの家庭に対しても支援につなげていかなければならない。	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善
							実績値	3,351	3,949	-	-	-		
							% 達成率	96%	99%	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
24	出産・子育て応援交付金事業	子育て支援課	全ての妊婦、子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、妊娠の届出や出生の届出を行った妊娠・子育て世帯等に対し、経済的負担の軽減を図る出生・子育て応援交付金を一体的に行う。	令和4年4月以降に妊娠出産した人に166人、出産した人82人に、さらさら子育て応援金を給付した。	① 出生後の赤ちゃん訪問	%	目標値	-	100	-	-	-	伴走型相談支援の充実を図るとともに経済的負担を軽減するための事業であり、おおむね目的は達成できたと思われる。	A.現状のまま継続
							実績値	-	115	-	-	-		
							% 達成率	-	115%	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
25	公立教育・保育施設管理運営事業	子育て支援課	幼児期の教育・保育は人格形成の基盤と生涯にわたる学習の基礎を培う極めて重要なものであり、子どもたちへの質の高い教育・保育の実施に努めます。また、保護者や地域の子育て力の向上を支援するため、保育サービスの拡充を図ります。	園児一人ひとりの発達状況に応じた保育・教育を実施した。また保護者や地域のニーズに応え、一時保育、延長保育、病後児保育事業を実施した。さらに、職員はスキルアップのための研修に参加した。	① 「安心して子どもを預けることができる」と回答した割合	%	目標値	100	100	100	100	100	市内唯一の公立保育園として、関係機関と連携を取り合い、個々の発達状況・特性にあった保育・教育を実施し、一定の成果を上げている。今後においても、職員のスキルアップを図り、保護者のニーズに応えながら、地域とともに豊かな人間性をもった園児の育成に努めていかなければならない。	A.現状のまま継続
							実績値	96.5	100	-	-	-		
							% 達成率	97%	100%	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
					② 「子ども一人一人を理解し、大切に保育している」と回答した割合	%	目標値	100	100	100	100	100		
							実績値	91.2	97.9	-	-	-		
							% 達成率	91%	98%	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成 ●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携 ●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実 ●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実 ●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進 ●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進 ●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援 ●大分県立三重総合高等学校への支援 	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	72組
			地域子育て支援センター実施箇所数及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	68人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	1校

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
26	特別支援保育事業	子育て支援課	保育が必要である児童のうち、心身に障害を有する者の保育所における受入れを促進し、障がい児の健全な発達を図る。(県補助対象事業としてスタートするが、現在では県補助対象外につき市単事業として他市同様継続して実施。)	8か所の保育所等が障がい児を受け入れるために職員を加配し25人の園児を保育した。	① 受入人数	人	目標値	10	10	10	10	10	障がい児の受け入れ体制の充実とともに、保育士等の研修を通じて支援体制を整えることで、一定の成果を上げている。保護者への相談支援や養育支援などに取り組む必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	17	25	-	-	-		
							% 達成率	170%	250%	-	-	-		
							② -	目標値	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-			
							% 達成率	-	-	-	-			
27	延長保育事業	子育て支援課	就労形態の多様化に伴い、開所時間を超えて在籍園児を保育する事業	10か所の私立保育所等で延べ8534人の園児に延長保育を行った。	① 利用人数	人	目標値	450	450	450	450	450	保護者の仕事等社会的活動と子育ての両立の支援に、一定の成果を上げており、今後においても必要な事業である。	A.現状のまま継続
							実績値	353	406	-	-	-		
							% 達成率	78%	90%	-	-	-		
							② -	目標値	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-			
							% 達成率	-	-	-	-			
28	預かり保育事業	子育て支援課	子ども・子育て支援事業を実施し、子ども・保護者の置かれている環境に応じ適切な利用を促進する。	7か所の私立認定こども園等で延べ2,008人の児童を預かり、保育を行った。	① 利用人数	人	目標値	4000	4000	3900	3900	3800	保護者の勤務の都合により、教育時間前後に保育を行う事業で、通常の教育時間の前後や長期休業期間に教育活動を行うことで、一定の成果を上げている。今後においても必要な事業である。	A.現状のまま継続
							実績値	3234	2008	-	-	-		
							% 達成率	81%	50%	-	-	-		
							② -	目標値	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-			
							% 達成率	-	-	-	-			
29	一時保育事業	子育て支援課	保育所等を利用していない家庭において、一時的に家庭での保育が困難となった場合に、児童を一時的に預かる事業	4か所の私立保育所等で延べ80人の子どもを一時保育を行った。	① 利用人数	人	目標値	350	350	350	350	350	保育所等を利用していない家庭において、断続的または緊急一時的に育児が困難になる場合、保育所等が預かることで子育て支援に一定の成果を上げている。	B.見直しの上で継続-1 拡充
							実績値	174	80	-	-	-		
							% 達成率	50%	23%	-	-	-		
							② -	目標値	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-			
							% 達成率	-	-	-	-			
30	病後児保育事業委託事業	子育て支援課	病気の回復期の児童を一時預かりすることで、保育所等に入所している児童等の保護者の仕事等社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を応援	3か所の病児保育施設に病気又は病気の回復期の児童を預かりする事業を委託し、延べ894人の利用があった。	① 利用人数	人	目標値	700	700	700	700	700	保護者の就労と育児の両立を図るための事業であり、一定の成果を上げている。広域化・ICT化を行ったことにより、県内全域でスマホから予約できるようになる等利便性があがっている。	A.現状のまま継続
							実績値	589	894	-	-	-		
							% 達成率	84%	128%	-	-	-		
							② -	目標値	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-			
							% 達成率	-	-	-	-			

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成 ●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携 ●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実 ●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実 ●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進 ●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進 ●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援 ●大分県立三重総合高等学校への支援 	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	72組
			地域子育て支援センター実施箇所数及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	68人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	1校

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
31	小中一貫コーディネーター活用事業	学校教育課	会計年度任用職員として小中一貫コーディネーターを採用し小中一貫校の設置を進めていく。 ・豊後大野市の将来を担う児童生徒の育成のため 小中一貫教育、郷土学を柱にした教育改革を推進する。 ・小中一貫教育を実施していくことで、地域に学校を残し持続可能な地方の創造を図る。	小中一貫コーディネーター1名を配置し、各小中学校の保護者会や学校運営協議会で小中一貫教育について説明し、周知した。また、各学校の創意工夫した学習活動を取材し、市報で紹介した。この他、郷土学や体験的学習が9年間を見通した学びとなり、地域と連携した取組となるよう、各学校の教育目標や教育内容の見直しの支援をおこなった。	① 小中一貫校の設置	校	目標値	1	2	4	5	7	小中一貫コーディネーターを採用し、基本計画の令和7年の7校設置に向け、継続して小中一貫校の設置を進めていく必要がある。小中一貫コーディネーター活用事業は取組実績から達成できたと評価する。	A.現状のまま継続
							実績値	1	1	-	-	-		
							達成率	100%	50%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
32	郷土の先輩事業	学校教育課	キャリア教育の取り組みの一部であり、キャリア教育で評価を行う。 ※事業内容が変わる可能性があるため	「郷土の先輩特別授業」の実施 対象：7中学校 415名 講師：3名	① 生徒の評価	%	目標値	60	60	60	60	60	郷土の先輩事業は市にゆかりがあり、活躍されている方を「生き方の先輩」として招へいし、子ども達が将来を考えるきっかけづくりや将来の夢に向かって取り組もうとする意欲づくりを醸成する事業であり、キャリア教育の一環として今後も継続した取り組みが必要であると評価する。また、生徒向けにおこなったアンケートの結果においても事業の効果が確認できる。	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善
							実績値	67	91	-	-	-		
							達成率	112%	152%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
33	キャリア教育推進事業	学校教育課	①職業講話の実施を通して、職業に対する理解を深めるとともに望ましい職業観・勤労観を育成し、主体的に学びや活動に向かう児童・生徒を育成する ②「匠のWAZA」「ジオ学習」「社会見学」等、豊後大野市の人材を小中学校に派遣する体験的な「郷土学」の実施の推進を通して、豊後大野市の魅力発見を促し、将来的に豊後大野市を愛する児童生徒を育成する。	小中学校におけるキャリア教育の推進 ○小中学校「職業講話」 小学校高学年：3校実施、講師4人 中学校1年生：7校実施、講師延べ36人 ○小学校「匠のWAZA」体験学習 8校実施、講師延べ37人 ○中学校「職場体験学習」6校で実施 ○小中学校の「郷土学」全小中学校で実施	① 小学校の授業や行事をキャリアの視点で見直しをしたか	%	目標値	90	92.5	95	97.5	100	児童生徒が将来、自分らしい生き方を実現するため、職業講話による仕事への理解を深め、「匠のWAZA」「ジオ学習」「社会見学」等、体験的な郷土学の実施により郷土愛を育み、将来的を考える機会となる事業である。新型コロナウイルスの影響により実施できない事業もあったが、各学校で継続して取り組みを進めており、活動実績からも各学年に応じたキャリア教育事業は今後も必要であると評価する。	A.現状のまま継続
							実績値	90.9	95.5	-	-	-		
							達成率	101%	103%	-	-	-		
							目標値	90	92.5	95	97.5	100		
34	特色ある学校づくり推進事業	学校教育課	平成25年度より開始した事業で、郷土学、小中一貫教育、学力向上、英語教育などをテーマとした取組を各学校が推進している。 ・学校を地域コミュニティの核として、地域一体で小中一貫教育校の設置を進め、連結型小中一貫教育で培った「ふるさとを愛する子ども」に「将来もこのまちに住みたい」という心情を育み、「持続可能なまちづくり」につなげていくことを目指していく。 (各小中学校に対する補助事業)	各学校において特色ある学校づくりのためそれぞれの研究目標に沿った取り組みを行った。コミュニティ・スクールをはじめとする地域の協力のもと、タブレット端末を活用したジオ学習、地域の伝統文化の学習、農業体験等を実施した。小中一貫教育では小学校と中学校が共通の目標を設定し、義務教育9年間における指導の一貫性を確保した。 取組内容は教育シンポジウムにおいて発表し、ICT機器を利用した取り組みを展開した。	① 補助事業実施率	%	目標値	100	100	100	100	100	各学校において郷土学、小中一貫教育、学力向上、キャリア教育などを研究目標とした推進事業については活動実績から見て達成できたと評価する。今後は各学校の特色が魅力ある学校へと展開できるよう、実施内容の見直し等を行いながら継続した取り組みが必要である。	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善
							実績値	100	100	-	-	-		
							達成率	100%	100%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
35	学校教育力向上対策事業	学校教育課	豊後大野市教育委員会から地域全体に情報の発信や研修、学校生活の生徒に対する調査等を行うことにより、管内の小中学校の教育力の向上を目指ことを目的として実施する事業	・学校教育基本方針グランドポスターの作成 ・中学校1年生を対象とした学校生活における満足度や意欲等についての学級集団診断の実施 ・小中学生（中学校3年生を除く）を対象とした学力テストの実施 ・学校教育力向上のための研修 ・学校での児童生徒の生活、学力状況等の調査及び分析	① 学力の分析の実施率	%	目標値	100	100	100	100	100	教育委員会から地域に向けた情報発信や研修、学校生活に対する調査・分析や指導主事による学校教育力向上のための調査、研修、啓発等の取り組みは小中学校の教育力向上を目指すために継続した取組が必要であり、取組実績から達成できたと評価する。	A.現状のまま継続
							実績値	100	100	-	-	-		
							達成率	100%	100%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
35	学校教育力向上対策事業	学校教育課	豊後大野市教育委員会から地域全体に情報の発信や研修、学校生活の生徒に対する調査等を行うことにより、管内の小中学校の教育力の向上を目指ことを目的として実施する事業	・学校教育基本方針グランドポスターの作成 ・中学校1年生を対象とした学校生活における満足度や意欲等についての学級集団診断の実施 ・小中学生（中学校3年生を除く）を対象とした学力テストの実施 ・学校教育力向上のための研修 ・学校での児童生徒の生活、学力状況等の調査及び分析	② -	%	目標値	-	-	-	-	-	教育委員会から地域に向けた情報発信や研修、学校生活に対する調査・分析や指導主事による学校教育力向上のための調査、研修、啓発等の取り組みは小中学校の教育力向上を目指すために継続した取組が必要であり、取組実績から達成できたと評価する。	A.現状のまま継続
							実績値	-	-	-	-	-		
							達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成 ●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携 ●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実 ●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実 ●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進 ●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進 ●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援 ●大分県立三重総合高等学校への支援 	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	72組
			地域子育て支援センター実施箇所数 及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	68人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	1校

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価		
													所管課の所見	今後の方針	
36	資料館運営事業	社会教育課	資料館を基本施設として、各公民館等と共に市民等へ文化財に接する機会や情報を提供し、文化意識の高揚を図る	企画展の開催や、古文書の燻蒸や鉄製品保存処理、粘土人形の修復など歴史的資料の公開や保存等を行った。またジオパークの拠点施設としての学校教育での学習支援や、市民の生涯学習施設としての学習などを行った。	① 資料館入館者数	人	目標値	1000	1000	6000	6000	6000	入館者の増をめぐすためには、今後地域自治会やサロン、老人会などの団体へ観覧の呼びかけが必要となる。また、企画展示を数年後まで計画する長期的な展望が必要であるが、資料館運営、ジオパーク、文化財保護事業を兼務しており、特にジオパークにおける郷土学のため小中学校の学習支援を最優先している。この業務を継続しながら企画展示に集中して取り組むためには、専門員の増員が必要である。	A.現状のまま継続	
							実績値	12404	9917	-	-	-			
						%	達成率	1240%	992%	-	-	-			
							② 講座・学校支援等実施件数	件	目標値	103	103	103			100
						実績値	119		96	-	-	-			
						達成率	116%	93%	-	-	-				
37	小中学校ICT環境整備事業	学校教育課	GIGAスクール構想をはじめとした各種補助事業を有効活用し、学校のICT環境の整備・充実を図り、情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実を図る。 また、課題の発見と解決に向けた主体的かつ協働的な学びを充実するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成するために、ICTを活用した教育を推進する。	GIGAスクール構想に基づき、小中学校に対してICT教育に必要な授業支援やICT機器の購入及び維持管理、ソフトウェアの導入等を実施した。 また、学校教育ICT支援員2名を配置し、指導者向けに端末を活用した授業支援や各種アプリの使用に関する研修を実施した。	① ICT機器を使って授業ができる教職員の割合	%	目標値	80	82	83	84	85	GIGAスクール構想に基づく学校のICT環境の整備・充実や情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実、ICTを活用した教育を推進については今後も継続した取り組みは必須であり、事業の実績から見て達成できたと評価する。	B.見直しの上で継続-1 拡充	
							実績値	79.1	94.2	-	-	-			
					%	達成率	99%	115%	-	-	-				
						② 高速大容量の通信ネットワークの整備	%	目標値	100	100	100	100			100
					実績値			100	100	-	-	-			
					達成率	100%	100%	-	-	-					
38	遠距離通学事業	学校教育課	遠距離通学児童生徒の通学手段の確保、遠距離通学による保護者負担の軽減を図る。	遠距離通学児童生徒の通学手段の確保、遠距離通学による保護者負担の軽減を図るため、定期券の補助及び自転車購入費等の一部補助を行った。 定期券補助 46名 自転車補助 1名 徒歩等補助 8名 該当者への周知を徹底した	① ※補助事業に付き評価無し	%	目標値	-	-	-	-	-	評価対象外	-	
							実績値	-	-	-	-	-			
					%	達成率	-	-	-	-	-				
						②	%	目標値	-	-	-	-			-
					実績値			-	-	-	-	-			
					達成率	-	-	-	-	-					
39	スクールバス運行管理事業	学校教育課	遠距離通学児童生徒の通学手段の確保、遠距離通学による保護者負担の軽減を図る。	スクールバス（コミュニティバス）及び送迎タクシーの運行を実施。※該当者への周知を徹底した ○スクールバス運行管理事業…スクールバスまたは送迎タクシーの運行による通学手段の確保をした。<対象者：遠距離通学児童・生徒158人/運行路線：22路線> スクールバス運行委託料【19路線】送迎タクシー運行委託料【3路線】臨時送迎タクシー借上料【随時】	①	%	目標値	-	-	-	-	-	評価対象外	-	
							実績値	-	-	-	-	-			
					%	達成率	-	-	-	-	-				
						②	%	目標値	-	-	-	-			-
					実績値			-	-	-	-	-			
					達成率	-	-	-	-	-					
40	就学援助事業	学校教育課	子どもが成長する過程において、等しく勉学に励むことができる環境づくりを進めることが必要であり、教育格差の解消に向け、家庭環境などにより就学が困難な児童生徒を対象とした支援を行う。 ※対象：生活保護世帯に準ずる世帯	豊後大野市学校児童生徒就学援助規則の規定に基づき、市内小中学校に在学する児童生徒の保護者で生活保護世帯に準ずる程度に困窮している世帯等の保護者に対して、就学に必要な学用品費、修学旅行費、医療費（歯科）に対する経費を援助した。	①	%	目標値	-	-	-	-	-	評価対象外	-	
							実績値	-	-	-	-	-			
					%	達成率	-	-	-	-	-				
						②	%	目標値	-	-	-	-			-
					実績値			-	-	-	-	-			
					達成率	-	-	-	-	-					

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成 ●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携 ●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実 ●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実 ●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進 ●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進 ●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援 ●大分県立三重総合高等学校への支援 	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	72組
			地域子育て支援センター実施箇所数及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	68人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	1校

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
41	特別支援教育就学奨励事業	学校教育課	特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援学級の児童生徒を対象とした支援を行う。	特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学のために必要な学用品費、修学旅行費、給食費の援助をおこなった。	①	%	目標値	-	-	-	-	-	評価対象外	-
							実績値	-	-	-	-	-		
						%	達成率	-	-	-	-	-		
							②	目標値	-	-	-	-		
								実績値	-	-	-	-		
							達成率	-	-	-	-	-		
42	要保護児童生徒援助事業	学校教育課	子どもが成長する過程において、等しく勉学に励むことができる環境づくりを進めることが必要であり、教育格差の解消に向け、家庭環境などにより就学が困難な児童生徒を対象とした支援を行う。 ※対象：生活保護受給世帯	生活保護法第6条第2項に規定する生活保護世帯に対し就学に必要な修学旅行費・医療費(歯科)を援助した	①	%	目標値	-	-	-	-	-	評価対象外	-
							実績値	-	-	-	-	-		
						%	達成率	-	-	-	-	-		
							②	目標値	-	-	-	-		
								実績値	-	-	-	-		
							達成率	-	-	-	-	-		
43	三重総合高校の明日を拓く会補助事業	学校教育課	本市唯一の高等学校である三重総合高校を存続させるために支援を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・三重総合高校の視察 ・「三重総合高校の明日を拓く会」への支援 ・三重総合高校と市内小中学校との交流 	①	%	目標値	-	-	-	-	-	評価対象外	-
							実績値	-	-	-	-	-		
						%	達成率	-	-	-	-	-		
							②	目標値	-	-	-	-		
								実績値	-	-	-	-		
							達成率	-	-	-	-	-		

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-3「高齢者の活躍推進」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●介護サービスのより身近で細やかなサービス提供体制の構築 ●元気高齢者及び要支援高齢者の自立支援 ●ICTを活用した介護予防システムの導入と推進 ●コミュニティカフェや認知症カフェ等の「通いの場」の活動支援 ●高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施 ●マイナンバーを活用した医療保険情報と介護保険データベースの連結利用 ●高齢者の有償ボランティアや就労の推進 ●生涯現役生産者への支援 	重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (2025年度)	実績値 (2022年度)
			健康寿命	男性 80.51歳 女性 85.10歳	男性 80.78歳 女性 84.08歳

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	認知症高齢者個人賠償責任保険事業	高齢者福祉課	認知症高齢者と介護家族を市が加入する損害賠償責任保険の保険対象者とする事で、安心した在宅生活を送れるようにすること。	令和5年3月末時点の加入者は62名である。令和4年度中の異動は新規加入6名、廃止22名であった。	① -	目標値	-	-	-	-	-	-	認知症高齢者と介護家族を市が加入する損害賠償責任保険の保険対象者とする事で、安心した在宅生活を送れるようにすることが目的であり、今後も事業の継続が必要である。	A.現状のまま継続
						実績値	-	-	-	-	-	-		
						% 達成率	-	-	-	-	-	-		
						目標値	-	-	-	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-	-	-							
% 達成率	-	-	-	-	-	-	-							
2	高齢者世帯リフォーム支援事業	高齢者福祉課	高齢者の暮らしの安全確保のためバリアフリー改修工事等行った住宅の所有者に対し、規定の補助金を交付する。	高齢者のために行う浴室改修工事(2件)に対し、補助金を交付した。	① -	目標値	-	-	-	-	-	-	高齢者のために行う浴室改修工事(2件)に対し、補助金を交付した。高齢者のいる世帯に対しバリアフリー改修工事の費用を補助することにより、暮らしの安全確保や住環境の向上を図るため、今後も事業の継続が必要である。併せて今後も周知を行い、利用者の増加に努める必要がある。	A.現状のまま継続
						実績値	-	-	-	-	-	-		
						% 達成率	-	-	-	-	-	-		
						目標値	-	-	-	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-	-	-							
% 達成率	-	-	-	-	-	-	-							
3	配食サービス事業	高齢者福祉課	食事の確保が困難な高齢者に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行うことで地域での生活を支援する。	配食サービス事業者と契約し、食事の確保が困難な高齢者(実利用者240名)に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行った。	① -	目標値	-	-	-	-	-	-	配食サービス事業者と契約し、食事の確保が困難な高齢者に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行った。在宅で自立した生活を支援するため、今後も事業の継続が必要である。	A.現状のまま継続
						実績値	-	-	-	-	-	-		
						% 達成率	-	-	-	-	-	-		
						目標値	-	-	-	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-	-	-							
% 達成率	-	-	-	-	-	-	-							
4	緊急通報装置設置事業	高齢者福祉課	ひとり暮らし高齢者等に対して緊急通報装置を通した見守りサービスを提供することにより、急病・事故等の際における不安感の緩和を図り、緊急時に迅速かつ適切な対応を図る。	ひとり暮らし高齢者等の世帯に緊急通報装置を貸与することにより、高齢者の日常生活における不安感を解消し、急病・災害などの緊急時に迅速に対応した。実利用99人、日常生活の相談25件、緊急通報7件であった。	① -	目標値	-	-	-	-	-	-	引き続き、ひとり暮らし高齢者等の世帯に緊急通報装置を貸与することで、高齢者の日常生活における不安感を解消し、急病・災害などの緊急時に迅速に対応する必要がある。	A.現状のまま継続
						実績値	-	-	-	-	-	-		
						% 達成率	-	-	-	-	-	-		
						目標値	-	-	-	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-	-	-							
% 達成率	-	-	-	-	-	-	-							
5	在宅高齢者住宅改造助成事業	高齢者福祉課	高齢者の自立を支援し、介護者の負担軽減を図るために、居住する住宅を改造する必要があると認められる高齢者に対し、改造工事を行う場合に必要費用の一部を助成する。	段差解消5件の改造工事費用の一部を助成した。	① -	目標値	-	-	-	-	-	-	段差解消5件の改造工事の一部助成を行った。今後も高齢者等が自宅において暮らしやすい生活ができるよう高齢者の自立を支援するため、介護者の負担の軽減を図るとともに、事業の周知を行う必要がある。	A.現状のまま継続
						実績値	-	-	-	-	-	-		
						% 達成率	-	-	-	-	-	-		
						目標値	-	-	-	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-	-	-							
% 達成率	-	-	-	-	-	-	-							

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-3「高齢者の活躍推進」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●介護サービスのより身近で細やかなサービス提供体制の構築 ●元気高齢者及び要支援高齢者の自立支援 ●ICTを活用した介護予防システムの導入と推進 ●コミュニティカフェや認知症カフェ等の「通いの場」の活動支援 ●高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施 ●マイナンバーを活用した医療保険情報と介護保険データベースの連結利用 ●高齢者の有償ボランティアや就労の推進 ●生涯現役生産者への支援 	重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (2025年度)	実績値 (2022年度)
			健康寿命	男性 80.51歳 女性 85.10歳	男性 80.78歳 女性 84.08歳

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価		
													所管課の所見	今後の方針	
6	はり、きゅう治療費助成事業	高齢者福祉課	はり、きゅう、マッサージの施設を利用する者の経費を助成することにより、健康保持と福祉増進に寄与する。	70歳以上高齢者数は、令和5年3月末現在で12,168人であり、うち6.8%に当たる828人が、はり・きゅう治療費助成金を利用した。利用者一人当たりの利用回数は、3.2回(2,675回÷828人)であった。	① -		目標値	-	-	-	-	-	-	70歳以上の高齢者の6.8%に当たる828人がはり・きゅう治療費助成金を利用しており、高齢者の健康保持と福祉の向上に寄与したと考えられる。健康保持、医療費の抑制にも効果がある事業であるため、より積極的な広報を行い年間利用者数の増加に努める必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	-	-	-	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-	-		
					② -		実績値	-	-	-	-	-			
							% 達成率	-	-	-	-	-			
7	コミュニティカフェ運営事業	高齢者福祉課	住み慣れた地域で、高齢者の方がこころから健康を保つため、自立した生活を継続し、元気なところから通う地域拠点とする居場所(コミュニティカフェ)の充実を推進します。 地域住民が主体となって週一回の通いの場が、介護予防や高齢者の支え合いを重視し、継続して運営できるように行う	コロナ禍で7か所のカフェが、休止と感染症対策を施しての実施を断続的に行った。再開時に安心して開催できるように、感染症対策の助言や指導などの支援を行った。延べ参加者は4654人であった。	① 介護認定新規申請者の平均年齢	歳	目標値	83	83	83	83	83	住み慣れた地域で高齢者がこころから健康を保つため、自立した生活を継続し、元気なところから通う居場所づくりとしてコミュニティカフェの充実を推進している。コロナ禍で7か所のカフェ休止や感染症対策を施して断続的に実施するなど、十分な開催が行えない時期があった。 高齢者が安心して地域で済み続けるために必要な事業であり、活動を小地域に広げていくことも視野に入れながら、継続して支援を行う必要がある。	A.現状のまま継続	
							実績値	83.4	84.2	-	-	-			
							% 達成率	100%	101%	-	-	-			
							目標値	-	-	-	-	-			
					② -		実績値	-	-	-	-	-			
							% 達成率	-	-	-	-	-			
8	認知症カフェ運営事業委託事業	高齢者福祉課	WHOによると、認知症予防(認知症の進行を遅らせること)には他者との交流が有効とされ、令和元年6月に閣議決定された「認知症施策推進大綱」においても、認知症カフェの普及が明記されています。 本市においても認知症の予防や認知症の方本人・家族の相談窓口とするため、認知症カフェを設置します。	コロナ禍の影響で、感染症対策を新たにを行った。 毎週1回水曜日に開催し、参加者を2班に分け、隔週で参加するようにして参加人数の調整を行った。 年間で48回実施し、延べ参加者1258人とスタッフ761人の参加であった。	① 認知症カフェのスタッフ延べ人数	人	目標値	900	900	900	900	900	住み慣れた地域で安心して暮らすために認知症の方本人・家族の居場所相談窓口として重要な役割を持つ事業であり、今後もカフェの開催が安定して継続できるように、委託事業者の指導及び支援を行っていく必要がある。	A.現状のまま継続	
							実績値	779	761	-	-	-			
							% 達成率	87%	85%	-	-	-			
							目標値	-	-	-	-	-			
					② -		実績値	-	-	-	-	-			
							% 達成率	-	-	-	-	-			
9	高齢者の保健事業と介護予防一体的事業	市民生活課	高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施し、切れ目のない支援に結びつけ、自立した生活ができる期間の延伸とQOL向上を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・KDBシステムを導入し、地区分析を行い、保健・医療・介護情報をHPやリーフレットにて市民へ周知。 ・管理栄養士、歯科衛生士の医療専門職2名を配置し、健康相談、健康教室を実施 ・健康状態不明者把握81/81 (100%) ・集団健診時の健康相談31/31 (100%) ・サロン、カフェ等での健康教室 	① 健康状態不明者の保健・医療等への接続率	%	目標値	-	-	30	40	40	令和4年度からの事業開始となったが、保健師、歯科衛生士等の医療専門職が受診勧奨、フレイル対策、疾病予防といった視点から保健事業と一体となって高齢者の介護予防事業に関わることが可能となった。 今後も関係課、関係機関との連携を深め、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活と社会参加ができるようになることを目指し、事業を進めていく。	---	
							実績値	-	-	-	-	-			
							% 達成率	-	-	-	-	-			
							目標値	-	-	40	41	41			
					② 後期高齢者健診受診率(75歳到達者)	%	実績値	-	-	-	-	-			
							% 達成率	-	-	-	-	-			
10	豊肥地域シルバー人材センター補助事業	商工観光課	公益社団法人豊肥地域シルバー人材センター(以下「シルバー人材センター」という。)が高齢者の福祉の増進に資することを目的に行う事業(高齢者就業機会確保事業や雇用開発支援事業)に要する経費について、補助金を交付する。	年度末会員数423人(うち豊後大野市299人)で、請負事業の受注件数は3,617件、受注金額は202,609,164円。就業延人数は29,729人。	① シルバー人材センターの会員数	人	目標値	450	450	450	450	450	シルバー人材センターは、高齢者の能力の活用・生きがいづくりの場として必要な組織であり、引き続き補助を行う必要がある。	A.現状のまま継続	
							実績値	421	423	-	-	-			
							% 達成率	94%	94%	-	-	-			
							目標値	-	-	-	-	-			
					② -		実績値	-	-	-	-	-			
							% 達成率	-	-	-	-	-			

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-3「高齢者の活躍推進」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●介護サービスのより身近で細やかなサービス提供体制の構築 ●元気高齢者及び要支援高齢者の自立支援 ●ICTを活用した介護予防システムの導入と推進 ●コミュニティカフェや認知症カフェ等の「通いの場」の活動支援 ●高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施 ●マイナンバーを活用した医療保険情報と介護保険データベースの連結利用 ●高齢者の有償ボランティアや就労の推進 ●生涯現役生産者への支援 	重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (2025年度)	実績値 (2022年度)
			健康寿命	男性 80.51歳 女性 85.10歳	男性 80.78歳 女性 84.08歳

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
11	生涯現役世代育成支援交付金事業	農業振興課	56歳以上65歳以下の新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とする。	認定農業者連絡協議会、農業大学校への事業説明を行い、制度の周知を行った。 ■相談件数2件	① 営農継続者数	名	目標値	2	2	2	2	2	制度の周知に力を入れながら、対象者の掘り起こしに努める。	A.現状のまま継続
						実績値	0	0	-	-	-			
						%	達成率	0%	0%	-	-	-		
						名	目標値	-	-	-	-	-		
						実績値	-	-	-	-	-			
						%	達成率	-	-	-	-	-		

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-4「関係人口の創出・拡大」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●多機能型関係人口拠点施設の整備 ●二拠点居住による新しいライフスタイルの提供 ●都市住民、市民、地域外企業、地元企業、観光客等が交流する機会の提供 ●自治会等による他出子の組織化 ●ローカルベンチャーの立ち上げの支援 	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
			拠点施設の利用者数（累積）	5,200人	1,507人
			拠点施設の利活用による 新規事業創出数（累積）	22件	0件
			拠点施設で行うイベント・ セミナー等の参加者数（累積）	400人	134人

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	関係人口創出事業	まちづくり推進課	新しい時代の流れをつかみ、豊後大野の人や地域との深いつながりを築き、多様な人材の確保、起業や移住定住につなげていくため、二拠点居住やテレワークなどの4つの事業コンテンツを連動させたプラットフォームの構築に取り組む。 都市住民などの多様な人材と地域内人材との融合により、その人たらしさを発揮した新たなビジネスの創出や、豊後大野出身者など外から地域を支える人材の確保など、関係人口の創出及び拡大に取り組む。	・関係人口交流拠点施設の開館 ・指定管理者による施設の運営 ・指定管理者と関係人口創出事業の推進 ・拠点施設専用サイトの制作 ・出身者等とのマッチングサイト開設、受入支援	① 事業創出数（累積）	件	目標値	-	3	5	7	7	起業・創業支援に取り組むとともに関係人口の創出・拡大に努める。	A.現状のまま継続
							実績値	-	0	-	-	-		
						%	達成率	-	0%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
						%	達成率	-	-	-	-	-		

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標③「豊かな自然・地域を未来へつなげる」

基本的方向③-1「ジオ・自然との共生」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●体験型自然教育や自然保護思想の啓発等の自然教育の推進 ●ジオサイトと道の駅や食を絡めた「体験型」・「交流型」の商品の造成 ●「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会」事業の推進 ●ユネスコエコパークの普及啓発活動の推進 ●本市独自のユネスコエコパーク次世代育成事業 	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
			ジオガイド認定者数（累積）	130人	112人
			ジオパークフレンドショップ 事業者数（累積）	45事業所	36事業所
			エコパーク普及啓発活動 自然学習会参加者数（累積）	700人	319人

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	エコパーク推進事業	商工観光課	ユネスコエコパークの普及啓発や自然に触れるイベントの実施や、ユネスコエコパークエリアであることを周知する看板などを設置することで、「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」の普及啓発や、豊後大野市の宝である「豊かな生物多様性に育まれた自然の恵み」を将来に引き継ぐことを目的とする。	エコパークエリア内の観光施設の整備・点検を行うことにより、安全な自然体験に機会の創出に繋がった。 ・ロジきよかわ（テラス整備工事、プレハブ倉庫購入、ビニールカーテン更新工事、網戸設置工事） ・川上溪谷吊橋保守点検 3か所	① エコパーク普及啓発活動、自然学習会参加者数	人	目標値	70	340	460	580	700	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会で「保全」、「学術研究」、「持続可能な発展」に関する各種事業に取り組んでいる。また、観光施設の整備、点検を行うなど受入環境の整備は着実に進んでおり、エコパークの普及啓発活動も行っている。引き続き協議会の事業に取り組むとともに、市独自の事業を継続していく必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	57	319	-	-	-		
						%	達成率	81%	94%	-	-	-		
					② -		目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
						%	達成率	-	-	-	-	-		
2	ジオプロジェクト推進事業	商工観光課	ジオパーク基本計画に基づきジオサイトの保護・保全をするとともに、市民への啓発・普及活動により次世代に継承する。また、ジオサイトと道の駅や食を絡めた「体験型」・「交流型」の商品を造成し地域経済の活性化を図る。	・ジオサイト・サイン作成・設置業務 案内看板等を市内6か所に設置 ・ジオパーク専門員を雇用 学術研究や防災など専門的活動を行った。 ・ジオパーク推進協議会負担金 おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会への負担金支出	① ジオガイド認定者数（累積）	人	目標値	105	110	120	125	130	ジオパークの基本理念である、「教育」・「保護・保全」・「持続可能な発展」を基本として各種事業に取り組んでいる。また、昨年度途中で中止となったガイド養成講座をガイド認定まで行うことが出来た。。引き続き効果等を検証しながら各種事業に取り組む必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	97	112	-	-	-		
						%	達成率	92%	102%	-	-	-		
					② ジオパークフレンドショップ事業者数（累積）	事業所	目標値	37	39	41	43	45		
							実績値	34	36	-	-	-		
						%	達成率	92%	92%	-	-	-		

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標③「豊かな自然・地域を未来へつなげる」

基本的方向③-2「移住・定住の促進」	具体的な取組	●ウェブサイトやSNSを活用した地域の魅力的な情報発信と情報拡散の取組	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2022年度）
		●インキュベーションファーム事業による移住者への支援	各種移住施策による移住者数	100人	109人
		●移住コーディネーターとの連携による相談支援体制の強化の取組	インキュベーションファーム事業による移住者数	3組6人	3組6人
		●関係人口の創出・拡大のための取組			

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	定住住宅補助事業（不動産／家財／引越／空き家改修（県内））	まちづくり推進課	市内に存在する空き家の有効活用による、地域活性化や移住定住の促進を図るため、空き家バンク制度を活用した市外移住者や空き家所有者に対し、補助金を交付する。	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信による制度周知 空き家改修補助金 6件 空き家家財道具等処分補助金 10件 	① 市外からの移住者数	人	目標値	60	70	80	90	100	移住定住策として、空き家活用を推進する。	A.現状のまま継続
							実績値	96	109	-	-	-		
							% 達成率	160%	156%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
2	定住住宅補助事業（空き家改修（県外））	まちづくり推進課	市内に存在する空き家の有効活用による、地域活性化や移住定住の促進を図るため、空き家バンク制度を活用した県外移住者に対し、補助金を交付する。	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信による制度周知 空き家改修補助金の交付（県外移住者分） 5件 	① 市外からの移住者数	人	目標値	60	70	80	90	100	移住定住策として、空き家活用を推進する。	A.現状のまま継続
							実績値	96	109	-	-	-		
							% 達成率	160%	156%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
3	定住住宅補助事業（不動産／家財／引越／（県外））	まちづくり推進課	市内に存在する空き家の有効活用による、地域活性化や移住定住の促進を図るため、空き家バンク制度を活用した県外移住者や空き家所有者に対し、仲介手数料補助、家財道具等の処分費用に対する補助、引越し補助をおこなう。	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信による制度周知 空き家家財道具等処分補助金交付（県補助活用分） 8件 	① 市外からの移住者数	人	目標値	60	70	80	90	100	移住定住策として事業効果はあったが、空き家の活用促進にシフトするため、仲介手数料と引越し費用の助成については終了とする。	A.現状のまま継続
							実績値	96	109	-	-	-		
							% 達成率	160%	156%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
4	空き家成約奨励金給付事業	まちづくり推進課	市内に存在する空き家の有効活用を通じた、地域活性化や移住定住を促進するため、空き家バンク制度を通じた物件の成約の際に物件所有者に奨励金を交付するもの。	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信による制度周知 空き家成約奨励金の交付 20件 定住支援活動奨励金の交付 1件 	① 空き家バンク成約件数	件	目標値	20	20	25	25	30	移住定住策として空き家の活用を推進する。	A.現状のまま継続
							実績値	26	35	-	-	-		
							% 達成率	130%	175%	-	-	-		
							目標値	15	15	20	20	25		
5	インキュベーションファーム事業	農業振興課	"次代の農業及び地域を担う新規就農者をホームページ等を通じて全国から募集し、次代の豊後大野市農業の担い手を確保する。また、新規就農者技術習得研修施設（インキュベーションファーム）における栽培・管理等の実践研修、簿記研修等の農業経営研修により、新規就農者の育成を図ることを目的とする。"	<ul style="list-style-type: none"> 第10期生の就農支援 2組就農 第11期生の2年目の研修支援 2組 第12期生の募集 3組入校 	① 研修生の就農	組	目標値	2	2	3	3	3	研修終了後の住居確保について、改善の要望が出ている。関係課と連携して、満足度の向上に取り組む。	B.見直しの上で継続-1 拡充
							実績値	2	2	-	-	-		
							% 達成率	100%	100%	-	-	-		
							目標値	2	2	3	3	3		
					② 研修生の確保	組	目標値	2	2	3	3	3		
							実績値	2	3	-	-	-		
							% 達成率	100%	150%	-	-	-		
							目標値	2	2	3	3	3		

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標③「豊かな自然・地域を未来へつなげる」

基本的方向③-3「小規模集落の支援」	具体的な取組	●地域コミュニティの集いの場の環境整備	重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (2025年度)	実績値 (2022年度)	
		●地域の特性を生かしたコミュニティ活動の推進		地域振興協議会設置数 (累積)	15 協議会	8 協議会
		●地域を支える人材育成		地域振興協議会設置数 (累積)	14 か所	2 か所
		●地域の支え合い活動立上げの支援				

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	コミュニティ助成事業	まちづくり推進課	コミュニティ活動に必要な施設整備や備品購入等への支援を行う。	・コミュニティセンター助成事業 1 団体に助成金を交付。	① 採択団体		目標値	5	5	5	5	5	地域コミュニティ活動が活性化するよう、希望する団体には引き続き情報提供を行う。	A.現状のまま継続
							実績値	4	1	-	-	-		
							% 達成率	80%	20%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
2	小規模集落対策委託事業	まちづくり推進課	高齢化率が50%を超える旧小学校区単位に設立された地域振興協議会に、地域の課題把握や協議会の運営等を行う地域支援員を配置し、住民が安心して暮らせる地域づくりの体制の整備を図る。	小規模集落対策事業業務委託の締結 7 団体 ワークショップ等の開催 ・大野町東部 役員会+支部別説明会 13地区 ・緒方町小富士 役員会+地区別説明会 6箇所 ・三重町菅尾：役員会、協定書締結 ・協議継続地区対象研修会の開催 1 回	① 設置数	協議会	目標値	8	9	10	12	15	市民への支援体制の整備を検討し、引き続き支援を行う。	A.現状のまま継続
							実績値	7	8	-	-	-		
							% 達成率	88%	89%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
3	小規模集落等支援補助事業	まちづくり推進課	小規模集落等において、地域による自発的かつ主体的な地域づくりの推進を図るため、地域住民や地域コミュニティ組織等が自ら集落等生活圏の維持及び活性化を考え、活力ある生きがいの創出等に対する取組みに対し経費の一部を補助することで豊かなコミュニティづくりの推進を図ることができる。 ・ネットワーク・コミュニティ推進枠 ・集落活動支援枠	小規模集落支援事業費補助金 ・申請団体：3 団体 ・採択団体：2 団体	① 採択件数	件	目標値	2	2	2	2	2	市民のニーズに対応し、更に支援を続ける。	A.現状のまま継続
							実績値	2	2	-	-	-		
							% 達成率	100%	100%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
4	地域づくり交付金事業	まちづくり推進課	高齢化率が50%を超える旧小学校区単位に設立された地域振興協議会に、地域づくり計画に基づく活動を地域づくり交付金により支援し、地域の創意・工夫・責任による特色のある地域づくりの展開を図る。	地域づくり交付金の交付対象：7 団体	① 設置数	協議会	目標値	8	9	10	12	15	市民のニーズに対応し、更に支援を続ける。	B.見直しの上で継続-1 拡充
							実績値	7	8	-	-	-		
							% 達成率	88%	89%	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		

第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

(資料4)

基本目標③「豊かな自然・地域を未来へつなげる」

基本的方向③-4「広域連携の促進」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資源を有効に活用した施策の展開 ●幹事会以下7つの専門部会における広域的課題に対する取組 ●全県下共同消防指令システムの整備 	重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (2025年度)	実績値 (2022年度)
		大分都市広域圏での連携事業数 (累積)	21事業	17事業	

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価		
													所管課の所見	今後の方針	
地域創生事業		まちづくり推進課	人口減少・少子高齢社会にあっても、圏域の中心都市である大分市が近隣の市町村と連携することで、活力ある社会経済を維持するため「大分都市広域圏」を形成。 大分市、別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市、日出町の7市1町。	大分都市広域圏推進会議 大分都市広域圏ビジョン会議 各市町幹事・担当者会議 専門部会 (8分野)	①	大分都市広域圏での連携事業数	事業	目標値	21	21	21	21	21	まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき事業実施を行う。	A.現状のまま継続
						実績値	17	17	-	-	-				
						%	達成率	81%	81%	-	-	-			
					②	-	事業	目標値	-	-	-	-	-		
						実績値	-	-	-	-	-				
						%	達成率	-	-	-	-	-			